

平津幼稚園の思い出

平津ふれあい教室委員長 児子 信義
平津幼稚園には、私事ですが子ども3人と孫4人がお世話になり、幼い頃の思い出が溢れ、有り難かったです。

昭和初期は今とは違い保育園や幼稚園が少なく、平津学区の幼児教育体制は、平津小学校へ入学する児童は、最初の一年間は平津児童館にあとの一年を幼稚園で過ごしていました。その為、幼稚園の園児数も多いときは80人前後となり、今考えるとどんなに賑やかだったんだろうと思います。

幼稚園で園児たちとお弁当を食べる機会がありました。その時、園児たちが弁当箱に残った米粒を一つ残さず食べていました。どうしてなのかと聞いて、『先生がもったいないから最後まで食べなさい』と言われていたのです。小さい頃から食べ物に対する感謝の気持ちと箸の使い方を合わせて教えていたのです。

その後、幼稚園での食育教育の一環として、園内の畑で野菜作りを依頼されました。園児とその保護者と一緒に野菜(トマト、キュウリ、ナス、エンドウ、ダイコン、カブ、サツマイモ、ホウレンソウ、サトモ、タマネギなど)の種まきや水やり、草取りの後の収穫は楽しかったです。特にサツマイモは、焼き芋パーティーをして、その時には野菜作り名人から焼き芋ジジに変身します。楽しかったです。

卒業児数は、二千数百人を数える素晴らしい平津幼稚園が閉園するのは本当に寂しいです。今までの歴代の園長先生をはじめ関係者の皆様本当にありがとうございました。

平津幼稚園閉園に思うこと

平津学区連合町内会長 児子 薫
私が平津幼稚園に入園した当時は、現在のコミュニティハウスが平津小学校の講堂でそこに幼稚園がありました。幼稚園では、友達と一緒に遊ぶことが楽しみで通園していたように思います。

卒業後65年経ちますが、その時の友達とは今も付き合いがあり、時々美酒を酌み交わし昔を思い出することもありますが、私と同時に平津幼稚園を卒園された皆様もそれぞれの思いがあり、思い出されることと推察いたします。

遠足、学習発表会、運動会の行事など日々の幼稚園生活で先生方には、それぞれの個性を生かす教育をして頂いたことに感謝申し上げます。

開園から70周年、少子高齢化で入園者が少なくなり、令和3年度末で閉園することになりました。とても悲しい残念でありませんが、この事実を受け止め、さらなる未来に向け前進するしかありません。今まで平津幼稚園を支えて頂いた皆様に、感謝申し上げます。



昭和40年度 岡山空港(現岡山飛行場)乗り物見学
昭和40年度 遠足(動物園)
昭和41年度 入園式
昭和41年度 交通教室
昭和43年度 菊花見学会(古備津神社)
昭和44年度 よいこの発表会

私を育ててくれた平津幼稚園

岡山県青少年相談員 大上 末野
緑豊かな低い山並み、南から温暖な風光を受ける広い園庭に恵まれた平津幼稚園。

私は娘が希望の教職についてほっとした時、ひたむきに生きていた過去を振り返る中で、仕事や社会から受けた有形無形の支障に気づき、感謝の思の無償ボランティアを1976年寺子屋設置以来経年曲折しながら現在まで継続しております。多方面のボランティアや学習、様々な方々との出会いの中で、学びふれあう喜びや様々な体験が私を育ててくれ、奉仕活動は日常生活のライフスタイルとして定着しております。

当時、園の先生から「絵本の読み聞かせをみんなでしたい」と熱望され、私は先生と協力して手探りで準備を重ね、2000年5月に園児のお母様による読み聞かせ活動が実現して現在まで継続されています。母子共々に育ちゆくための愛の焔が幾度も消えかける度に先生方のご熱心な呼びかけ、お母様方への講話、お母様方の子どもの愛その他によって継続され絵本貸出なども行われています。絵本は、ストーリーだけでなく読む人の愛が伝わり、人生の大切な心の栄養となり宝物となります。私は無力ではありますが、先生方の要請される機会に出席させていただいて、園児や保護者、地域の方とのふれあいを重ねながらの支援をさせて頂いてきました。1992年の英国バーミンガム市・2000年の子どもの読書年の杉並区でのブックスタートを参考に良い例を話したり、2001年『絵本の扉』を発行、「絵本の読み聞かせ」の時に紙芝居や伝統文化(正月、節分、ひな祭り...)のお話、手遊びのふれあい、運動会では借り物競争や玉入れを園児や地域の方の声援を受けて観たりしたことが走馬灯のように思い出されます。

1945年世界大戦終結から76年、混乱の中から立ち上がり現在のスピードやグローバル化の進む社会は、宇宙開発、温暖化、大気汚染や感染症など地球の危機が伝えられ、持続可能な社会の構築は世界人類の課題であります。子どもたちは、「劣せずして幸福を望む」風潮やスマートフォンなど電子メディアその他様々な風潮に負けないで、幼稚園で培った心身を維持し、『生きていく力』を身に付けた大人に育ちゆくことを私は心から祈ってやみません。

最後になりましたが、広く深いお心でご指導ご支援を賜りました平津地域の皆様方に心より感謝申し上げ、平津地域のご発展、皆様方のご健勝をお祈りいたします。



昭和46年 岡山県立平津幼稚園と改称卒業記念
昭和51年度 第一回運動会(園独自)
昭和52年度 卒業記念(さくら組・きく組)
昭和60年 園歌制定

卒業児より平津幼稚園の思い出

昭和35年度卒業 入江 基晴
私が平津幼稚園を卒園したのは60年前になります。当時の園舎は木造でしたが、場所は現在と変わっており、小学校の校舎とはグラウンドを共有する形で併存しており、今も現役で使用されているコミュニティハウスが講堂(体育館のこと)でした。当時は一年保育で、入園した同級生、約30名とは、小学校を卒業するまでの7年間を同じクラスで一緒に成長した仲間です。

この度、平津幼稚園が様々な事情により閉園することは寂しいことですが、卒業生の個々の胸には、それぞれが当時を過ごした姿のままで、いつまでも残っているはずですが、閉園に際し、永年に亘り地域の幼児教育を支えてくれた平津幼稚園に対し、感謝の気持ちを込めて、ありがとうの言葉を贈ります。

昭和53年度卒業 竹原 康弘
私が通園していた時の平津幼稚園は木造校舎で、岡山県科技専門学校の場所には、旧平津小学校の木造校舎が残っていました。同級生は64人おり、気の知れた仲間たち。運動会、遠足、発表会、クリスマス会などの行事も賑やかでした。裏山での芋掘りも昆虫採集も楽しかった。幼少期の多感な時期を、沢山の遊びと充実した集団生活の中で学ぶことができました。

平津幼稚園が閉園になるのは寂しいけど、思い出は消えることはありません。

平成2年度卒業 山本 希子
この度、平津幼稚園の閉園が決定し、とても寂しい気持ちで胸がいっぱいです。

年少は、平津小学校の校庭に設立された仮設園で一年間過ごし、現在の園舎に移転したのは年長の時でした。幼いながらも新園舎から香る木の香りを感じながら、嬉しくてワクワクしていたことを今でも鮮明に覚えています。

一番の思い出は、母と泥だらけになった芋掘りです。自分の顔より大きなサツマイモを掘り、友達とホクホクの美味しい焼き芋を食べ感動したことを覚えています。

私が母親になり思ったことは、息子に「豊かな自然、地域の方々の優しさに触れながら大きくなってほしい。私が大好きな平津幼稚園に通わせてあげたい」ということでした。私の子ども達は、平津幼稚園を笑顔で卒園し、のびのびと育っています。

まだまだ沢山の思い出がありますが、平津幼稚園で過ごした二年間は私の人生の宝物です。

平成24年度卒業生 清久 文大
僕は、たくさんの桜の木に囲まれて平津幼稚園に入園しました。今も、桜の木の前で父に煎茶をしてもいい、写真を撮ったことを覚えています。

僕には二つほど覚えていることがあります。一つはふれあい農園の方と一緒に、サツマイモを育てて、みんなで焼いて食べたことです。

もう一つは他ではあまりなかった遊ぶ時間があったことです。そのおかげで、外で遊んだり山が近くにあったので、虫がたくさん出て虫取りをしたりするなど、自然の近くで自然と触れ合い、自由にのびのびと過ごせたことが思い出に残っています。これは平津幼稚園でしかできないことだと思います。平津幼稚園卒園の友達と今でも昔の思い出を話したりします。それくらい楽しかった思い出なんだと思います。僕達に楽しい思い出を作ってくれてありがとうございました。



平成元年 プレハブ園舎
平成2年 新園舎施工
平成5年度 遠征(長あか組)
平成8年度 運動会
平成9年度 芋掘り
平成11年度 お楽しみ会



平成13年度 園名設置
平成15年度 タマネギの収穫
平成16年度 敬老交流会
平成17年度 PTAバザー
平成18年度 生活発表会(年長すみれ組・さくら組)
平成20年度 焼き芋